

汝と我の

(昭和五十六年寮歌)

山根誠君 作歌
長谷部健君 作曲

一

よすがなき姿も見せぬ郭公を
 捜せしは誰ぞ汝と我の瞳なり
 草いきれ燃えたつ野にて戯れぬ
 獣らは誰ぞ汝と我の姿なり
 原始林と古屋を覆いたる
 邪なものめぐる世に
 正義の想い何処にか
 汝と我の胸にあり

二

轟ける荒磯の波のただ中を
 漕ぎゆくは誰ぞ汝と我の腕なり
 アカシアの狭霧漂う道辻を
 疾けゆくは誰ぞ汝と我の躰なり
 移ろい巡る天地を
 己が父とし母として
 のびゆく命何処にか
 汝と我の胸にあり

三

降りつもる雪に太古の巨象を
 描きしは誰ぞ汝と我の感傷なり
 夜もすがら思い乱れる若人を
 見つめしは誰ぞ汝と我の恵迪なり
 天宙駆ける参星の
 幽けき光仰ぎ見て
 語りしことば何処にか
 汝と我の胸にあり